



水無溪谷現地視察と勉強会に参加しました

6月27日(金)、毎年恒例となっている水無溪谷研究会主催の「水無溪谷現地視察と勉強会」が開催されました。今年は全体で40名以上の参加者があり、湯沢砂防事務所からも事務所長を含め5名の職員が参加しました。

現地調査では、砂防堰堤の工事現場や平成20年の大雨により土石流の発生したスナゴ沢などを見ながら、水無川を上流に向けて全員で歩きました。

現地調査後には、サイクリングターミナルで勉強会が開催され、湯沢砂防事務所、新潟県南魚沼地域振興局、南魚沼市役所からそれぞれの今年度の事業計画等について説明し参加の皆様から質問などをいただきながら意見交換を行いました。

水無川に対する地域の皆様方の思いを改めて認識する貴重な機会となりました。今後も地域の皆様のご意見を伺いながら、水無川流域の安全、安心確保の為の事業を進めて参ります。



40名以上での現地調査は迫力があります！



土石流堆積物が広がるスナゴ沢を調査



奥に見えるのが高石上流第2号砂防堰堤の建設現場です。



勉強会では活発な意見交換がなされました。